

外国語－9（第3学年） 場面や登場人物の心情を考えながら物語を読む事例  
【学習活動の概要】

1 単元名 「Let's Read 1 A Mother's Lullaby」

2 単元の目標

- 場面や登場人物の心情を考えながら、積極的に物語を読んでいる。
- 感情を込めて音読することができる。
- 場面を想像しながら、書かれた内容を読み取ることができる。
- 場面に応じた音読の仕方を身に付けている。

3 評価規準

- 【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】
- ・気持ちを込めて繰り返し音読している。
- 【外国語表現の能力】
- ・場面や登場人物の心情にふさわしい音読をすることができる。
- 【外国語理解の能力】
- ・場面や登場人物の心情を理解しながら、書かれた内容を読み取ることができる。
- 【言語や文化についての知識・理解】
- ・場面や登場人物の心情にふさわしい音読の仕方を身に付けている。

4 教材

本単元は、広島に原爆が投下された後、泣き叫ぶ男の子に子守歌を歌い続けた少女の物語であり、戦争の悲惨さや命の尊さなどについて考えさせる読解教材である。子守歌を歌う少女の気持ちや題名の意味などについて考えさせる問いを発したり、場面や登場人物の心情を踏まえた音読の仕方を考えさせたりすることにより、物語のあらすじを正確に読み取ることができる力を養う。

5 主な学習活動

(1) 単元の展開（全7時間）

	学習活動	言語活動に関する指導上の留意点
第一次 (1)	・広島に投下された原爆について理解する。 ・物語のあらすじを理解する。	・広島に原爆に関する客観的事実について理解を深めさせるとともに、物語の概要をつかませる。
第二次 (4) <b>本時</b>	・各場面の内容を理解する。(場面1～4) ・各場面や登場人物の心情が伝わるように、音読の仕方を工夫する。 <b>本時4/4</b>	・各場面の内容を理解し、深く読み取らせる。
第三次 (1)	・班ごとに本文の音読練習をする。 ・感情を込めて音読できるようにする。	・気持ちを込めて音読させる。
第四次 (1)	・本単元のまとめをする。 ・単元テスト	・各場面を振り返り、発表活動に結び付ける。(4技能の統合)

(2) 本時の学習（5/7時間）

目標：場面や登場人物の気持ちを思い浮かべながら、感情を込めて音読する。  
展開：

- ① 場面4の内容について、印象に残った英文を選び、その理由を英語で発表する。
- ② 場面や登場人物の心情にふさわしい音読練習を行う。
- ③ 班ごとに互いの音読を評価し合い、音読の仕方を更に工夫する。
- ④ 自己評価を行う。

## 【解説】

### 【指導事例と学習指導要領との関連】

学習指導要領 2 内容 (1) 言語活動 ウ「読むこと」の(イ)「書かれた内容を考えながら黙読したり、その内容が表現されるように音読すること。」及び(ウ)「物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること。」を取り上げて指導するものである。指導に当たっては、黙読や音読の特徴を十分に生かすようにしたり、手掛かりとなる語句や表現をヒントとして与えたりしながら、正確な読み取りのための配慮が必要であることが、解説に記されている。

### 【言語活動の充実の工夫】

#### 1 言語活動を行う上で、次のことに留意している。

- 1 時間の授業または 1 単元の中で、生徒が思考し、判断し、表現するなどの場面を設定することが大切である。
- 「読むこと」の指導に関しては、教師が一方向的に説明するなど、生徒にとって受け身の活動に陥りやすい。そうならないため、生徒自らに気付かせたり、生徒相互に評価し合う言語活動を工夫することが大切である。
- 音読については、登場人物の心情を理解した後、その気持ちが伝わるような読み方を工夫させるなど、生徒自らに考えさせる言語活動を工夫することが大切である。
- 各場面の理解を深める言語活動は、ワンパターンになりやすいため、各場面の指導に変化をもたせ、生徒を飽きさせない工夫が必要である。

#### 2 第二次における言語活動の充実のための工夫については、次のとおりである。

(場面 1 p. 32)

- ・ ピクチャーカードなどを活用しながら、ネイティブの英語を聞かせ、場面の状況が変わる部分に気付かせる。接続詞の重要性を理解させる言語活動の工夫。ここでは、リスニングの音の変化だけでなく、接続詞 **but** に注目させ状況の変化に気付かせることが大切である。

(場面 2 p. 33)

- ・ 教科書を閉じ、最初の 4 行の英文を並べ替えさせ、その理由を発表させる。代名詞や副詞句に着目させ、読み方を考えさせる言語活動の工夫。例えば、次のように英文の順番を変えて提示した後、生徒は手掛かりを見つけながら、英文を並べ替える。

ア They had burns all over their bodies.

イ On the morning of that day, a big bomb fell on the city of Hiroshima.

ウ Many people lost their lives, and many others were injured.

(場面 3 p. 34)

- ・ 教科書を閉じ、3つのパラグラフを生徒に提示し、話の流れがスムーズになるように並べ替えさせ、その理由を考えさせる。生徒には、3行ずつ3つのパラグラフを提示する。前時は英文の並べ替えであったが、ここでは、一歩進んでパラグラフの並べ替えを行う。主体的な読みにつながる言語活動の工夫。

(場面 4 p. 35)

- ・ 最も印象に残った 1 文を選ばせ、その理由を英文で書かせ自己表現をさせる。既習表現を活用しながら行う統合的な言語活動の工夫。これまで学習した文構造や表現を用いてまとまりのある英文を書かせ、思考し、判断し、表現させる活動である。

(例) 印象に残った英文：But the little mother did not stop singing.

I was very sad to read this sentence, because the young girl didn't notice the boy's death. She was also injured, but she tried to be his mother. I think the boy was happy with his "mother" when he died.